

平成21年度下期 柏崎刈羽品質監査部 活動状況報告

原子力品質監査部 柏崎刈羽品質監査部

1. 業務品質監査（平成21年10月～平成22年3月実施分）

| 監査対象部門 | 監査実施期間 | 監査結果 | |
|----------------------------|--------------------|---|--|
| | | 監査概要 | 指摘・要望事項 等 |
| 第二保全部 タービングループ | H21. 10. 14～11. 2 | 監査対象業務として「5号機タービン本体点検・修理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ① 若手メンバーのOJTを兼ねた安全パトロールを毎日実施するとともに、パトロール気付き事項と若手の感想を報告書に残しており、現場安全とメンバーの現場力育成に有効な取組みと考えられる。 ② 通常と異なる震災復旧工事について、先行号機である7, 6号機で試行錯誤を重ねた工夫を業務改善提案に取りまとめることにより、後続号機の作業効率向上に向けたナレッジの共有を図っていた。 |
| 広報部 報道グループ | H21. 10. 19～10. 26 | 監査対象業務として「起動におけるプラント全体の機能試験の進捗状況プレス」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 第一保全部 第二保全部 保全革新グループ | H21. 10. 20～10. 23 | 監査対象業務として「7号機SRCM(簡略的信頼性重視保全)・保全の有効性評価」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 ① 設備診断作業を行う際の安全確認ルールが口答周知に止まっているため、文書等で明確化すること。 【良好事例】 ① 「月刊かくしん」の発行を通じて、不適合事象への注意喚起、保全活動に必要な情報を提供するとともに、発電所内の設備診断技術への理解を深めていた。 |
| 第二運転管理部 5号当直 | H21. 10. 1～10. 26 | 監査対象業務として「定例試験」業務(定期的を実施する試験に対する管理業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 ① 危険物保安監督者として、「危険物災害予防規程」に定められた危険物取扱い作業への立会指示を確実に実施すること。 |
| 第一保全部 保全計画グループ | H21. 10. 28～11. 9 | 監査対象業務として「7号機の定検工程管理」業務および「特別危険物の持ち込み管理ルール」の運用改善業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 第一保全部 電気機器グループ | H21. 10. 29～11. 16 | 監査対象業務として「3号機500kV電力ケーブル取替及び関連除却」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ① 安全事前検討会に参加するにあたり、当社からの伝達・確認事項を予め定め、かつそれを組込んだグループ独自の書式に審議結果を書き込みながら実施することにより、安全事前検討会参加の実効性を高めていた。 ② 500kV CV ケーブルの導入において、雷インパルス耐電圧値再評価(工務部標準仕様の採用)によるケーブル絶縁厚見直しによるケーブルコスト削減、また、絶縁耐力試験方法の工夫による試験装置及び試験費用の削減など大幅なコストダウンを図っていた。 |
| 第二保全部 原子炉グループ | H21. 11. 11～11. 26 | 監査対象業務として「5号機配管サポート耐震強化工事」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ① 従来口頭で行われていた協力企業からの相談と回答内容をメールで実施、記録に残し、その結果(ナレッジ)を“問合せ事項管理リスト”として蓄積し、有効活用していた。 |
| 防災安全部 防災安全グループ | H21. 12. 11～12. 17 | 監査対象業務として「人身災害に係わる安全管理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 ① 改定文書の周知については変更箇所を識別する等適切な情報を提供すること。 |
| 第二保全部 電気機器グループ | H21. 11. 18～12. 15 | 監査対象業務として「5号機主変圧器取替工事」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 ① 緊急発注後に確定した詳細仕様は、調達先が製作に着手する前に確実に伝達すること。 |

| | | | |
|--|------------------------|---|---|
| 第一運転管理部 第二運転管理部 放射線・化学管理 グループ | H21. 12. 7～12. 21 | 監査対象業務として「放射性液体廃棄物放出管理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし ① 法定期限等管理対象項目の期限管理の方法を合わせること。 【良好事例】 ① 「部大の行動計画」の一環として、グループ大の実施項目および各メンバーの実施項目を明確化したスケジュール表を作成、進捗状況を「見える化」し、GMによるフォローおよび部長による確認がなされていた。 |
| 第一保全部 原子炉プロジェクト グループ | H21. 11. 25～H22. 1. 13 | 監査対象業務として「応力腐食割れ対策工事に伴う被ばく線量低減への取り組み」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ① 同一エリア内での建築G所管工事の仮設電源を、原子炉P J G所管工事の仮設電源として有効活用したことは、材料費及び労務費等のコスト削減を実現したと共にグループを跨いだ現場力を発揮した好事例である。 |
| 第二保全部 保全計画グループ | H22. 1. 7～1. 26 | 監査対象業務として「調達支援」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし ① 業務の計画は、効果的な継続的改善が図れるように具体的な実施内容を記載すること。 |
| 柏崎刈羽原子力人材開発 センター 教育管理グループ | H21. 12. 22～H22. 1. 20 | 監査対象業務として「SAT（体系的教育訓練手法）運用実績の評価と教育訓練プロセスへの反映状況」および「労務人事グループからの研修関連業務の移管状況」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 技術総括部 放射線安全グループ | H22. 1. 19～1. 26 | 監査対象業務として「個人線量管理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし ① 年度計画書の有効期限が切れていた。 【要望事項】なし |
| 第二運転管理部 燃料グループ | H22. 1. 25～2. 3 | 監査対象業務として「7号機漏洩燃料調査」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】なし |
| 第一運転管理部 第二運転管理部 運転評価グループ | H22. 2. 5～2. 18 | 監査対象業務として「プラント起動時のプラント診断」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ① 実務を担当するメンバー自らが講師となり「勉強会」を開催し、実務で得られた知識をグループ内で共有しており、業務品質向上のための有効な取組みと考えられる。 ② 従来の発注形態を見直すことにより、コストダウンを図った。 |
| 第一保全部 タービングループ | H22. 1. 27～2. 3 | 監査対象業務として「4号機タービン本体点検、タービンロータ修理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし ① 危険物作業においては、監理員または作業員が危険物保安監督者から確実に立合指示を受け、立会者を明確にし、作業を実施すること。 |
| 第二運転管理部 発電グループ | H22. 2. 16～3. 4 | 監査対象業務として「6号機起動時の運転支援」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 第一保全部 原子炉(1・4号) グループ | H22. 2. 17 | 監査対象業務として「1号機SGTS（非常用ガス処理系）配管修理に伴う溶接事業者検査」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし ① 品質目標の実績管理において、定期的に達成状況を評価し、記録を残すこと。 |
| 技術総括部 環境グループ | H22. 2. 26～3. 12 | 監査対象業務として「特別危険物保管管理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 第二保全部 環境施設プロジェクト グループ | H22. 3. 2～3. 9 | 環境施設P J Gが所掌する業務に関しては、平成21年度下期テーマ監査が実施されたことから、今年度は監査対象業務を選定せず、文書管理や教育・訓練、不適合管理等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし ① グループメンバーの資格更新の有無が監査時に不明確であった。 【要望事項】なし |
| 品質・安全部 品質保証グループ | H22. 3. 10～3. 11 | 監査対象業務として「規程・マニュアルの整備・体系化の推進」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ① 指差呼称を実施する上で重要なポイントを示した資料を協力企業に配布し、更なる指差呼称のレベル向上を図るなど、ヒューマンエラー防止に向けて効果のある活動を実施していた。 |

| | | | |
|--|------------------|--|----------------------|
| 第一保全部 計測制御(1・4号) グループ 第二保全部 計測制御グループ | H22. 2. 24～3. 16 | 監査対象業務として「1号機排気筒放射線モニタサンプリング配管修理工事」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 品質・安全部 安全管理グループ | H22. 3. 26～継続中 | 監査対象業務として「プラント停止時安全処置管理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。 | 監査継続中 |
| 第二保全部 環境施設グループ | H22. 3. 30～継続中 | 監査対象業務として「SPH(圧力抑制室プール水排水系)配管取替工事」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。 | 監査継続中 |

2. 特別監査：対象なし

3. 平成21年度上期期末、監査継続中等で監査結果が確定していなかったもの

| 監査対象部門／件名 | 監査実施期間 | 監査結果 | |
|-----------------|------------------|--|----------------------|
| | | 監査概要 | 指摘・要望事項等 |
| 技術総括部 技術グループ | H21. 9. 11～10. 1 | 監査対象業務として「プラント関係設備図書の整備および管理」業務について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |

以上